



学校運営で最も重要な柱 子どもの命を守りきる

- ・子どもが自らの命を断つこと、また、学校事故等により子どもの命が失われることは絶対にあってはならない。
- ・いじめや薬物乱用をはじめとする問題行動、虐待、不登校、子どもの困りについて、ささいな兆候や懸念であっても校内で報告・相談をし、情報の共有と行動の一元化を徹底する。
- ・「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」を迅速かつ組織的に行う。
- ・けがや体調不良は本人への丁寧な対応と保護者へ確実で早期の伝達
- ・防災教育を展開する中で、子どもに自然災害に関する知識を身に付けさせるとともに、危険に際して自らの命を守り抜くために主体的に行動する態度を育成する。

【重視する視点】

- 相手意識をもち、コミュニケーション能力を育成する。
- 「結果」だけでなく「過程」を大切にする。
- 育成をめざす資質・能力を意識したカリマネを行う。
- 教職員の自己研鑽（授業改善ではなく授業改革に取り組む）
- 初期対応を丁寧かつ確実に行う。
- 働き方改革を進める。

【具体的な取組】

知「自ら学ぶ子」確かな学力の育成

(1)学びの約束やルールの明確化

- カリキュラム・マネジメントの視点で教科横断的に資質・能力を培う。
- 全国学テやプレジョイ・ジョイプロの結果分析と手立ての共通理解
- 学習規律の徹底（チャイムで始まりチャイムで終わる、呼名）

(2)基礎的・基本的な知識・技能の習得と言語活動の充実

- めあて（課題）と大事（まとめ）を提示する。まとめとふりかえりは同一ではない
- 自主学習を進める（家庭学習の習慣化）
- 梅北検定の継続

(3)探求活動を通した主体的・対話的で深い学びの実現

- 自ら課題や疑問点を設定し、調べ、解決しようとする過程を大切にした探究活動の推進
- 単元構想図をもとにした総合的な学習の時間の充実（まなび交流会につなげる）

徳「優しい子」豊かな心の育成

(1)道徳教育の充実

- 内容項目 A[希望と勇気、努力と強い意志]・B[親切、思いやり]を重点とする。

(2)規範意識の育成

- あいさつの励行（会釈ではなく声を出して）（小中合同あいさつ運動）
- 問題行動に対して「社会で許されない行為は学校においても許されない」という毅然とした姿勢で指導を徹底する。
- 積極的に家庭に協力を求める。
- 子ども同士が正義感をもって指摘し合える風土を醸成する。

○情報モラル学習を通して「心を磨く領域」と「知恵を磨く領域」の指導を行う。

(3) 支え合い高め合う集団づくりのための取組

○たてわり活動

○なかよし集会

○丁寧な言葉づかい

(4) 多様性を理解する姿勢の涵養

○人権教育の推進

□「たくましい子」健やかな体の育成

(1) 基本的生活習慣の確立

○家庭との連携 生活調べの活用

(2) 保健教育の充実

○飲酒、喫煙、薬物に関する指導

○性に関する指導

(3) 安全教育の充実

○登下校における安全指導

○公共の場でのマナー指導

○学校安全日の点検

○交通安全教室(1年)、自転車教室(4年)の実施

(4) 食に関する指導の推進

○食に関する指導の全体計画に基づく指導

○アレルギー、アナフィラキシーについての正しい知識に基づいた適切な対応